

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 unico粕屋		公表日		2025年 4月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広い事で子どもたちが思い切り遊べる環境ではあるが、死角が多い部分はあると感じています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置数が適切であるが、環境上各場所に配置すると考えると人数的に難しい時もあると感じています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		バリアフリー化はされているが、玄関とフロアの境目が視覚的に分かりづらい部分があると感じます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		衣類の洗濯が手洗いな為、年齢的に洗いが必要なため洗濯機が必要と感じています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の目標を設定して視覚化し確認をしています 支援内容や業務について、朝礼・毎月のMTG・スピーチにて振り返り・学んだ事の共有、改善を行っています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		フロア内を毎日清掃しているが、遊んでいる際に足の裏が汚れる事が多く拭いて対応をしています 水道下の足ふきマット購入予定です		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		業務に追われる事もあるので、より丁寧に情報共有をしていきたいと考えています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		書面での共有であり、口頭でも振り返りの際に共有を行うが、連携が不足している部分もあります		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個別でファイルを確認し行動分析を行っています		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月活動の立案をチーム内で話し合う機会を設け、実行に努めています 全体把握が出来るようにしています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		どちらも経験が出来るように取り入れています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		送迎の時間が早い事もあり、じっくり行えていない日もあります（時間の確保を検討しています）	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		次の日の朝に前日の振り返りを行って、支援に活かしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		振り返りの際に、対応や様子の共有を行い改善に繋げています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		送迎時等でやり取りを行っています 保育所等訪問の機会に連携を図っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校へ訪問したり、話し合いに参加したりと情報共有を行っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		担当者会議や電話連絡、書面にて情報共有は行っています	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	外出や散歩などの機会で他の子どもと関わる事があります	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳内で支援についての共有、送迎の際に情報共有は行っているが、保育園送迎児には不足している部分もある為、必要な際には電話連絡にて共有を行っています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要な際には送迎時やお電話、来所していただき関わり方の工夫や支援の情報についてお伝えさせていただいています	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		3か月に一度親子イベントを実施し、保護者同士のコミュニケーションの場を作っています	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		がくぶりやGoogleフォト等を通して発信しております	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状況や要望に応じて口頭と文面を用いて情報共有をしている	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		まだ行っていないが、今後そのような機会を作って地域交流をしていきたいと考えています
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

こ ど も の こ と	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 unico粕屋		公表日		2025年 4月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		令和6年2月1日開設後今回が初回評価。より良いサービス提供に向けて工夫や改善を行っていきたい。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童発達支援の担当職員と連携を行い支援の充実を図っている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		令和6年2月1日開設後今回が初回評価。より良いサービス提供に向けて工夫や改善を行っていきたい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期研修を毎月実施している	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		より良いサービス提供に向けて工夫や改善を行っていきたい。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		訪問先との連携を軸に今後より体制を整えていきたい
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	参考資料等を用いて支援の質向上に向けて取り組みを行っている	
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		情報共有を行いご家庭で取り組める関わりについて相談助言を行っている	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	児童発達支援unico粕屋と同事業所内のため、児発の取り組みとして親子イベントを定期的に開催しご案内している	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		児童発達支援と併用のご家庭には、送迎時に担任の先生方と様子を共有し連携できるようにしている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		※訓練は児発実施に参加する形をとっている	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 unico粕屋			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ありのままの存在を認めること、おなじ人として対等にかかわること、選択肢が複数あり自分で選択(自立性)できる居場所づくり	・大人からすべてを教えたり大人の価値観を押し付けるのではなく“子どもたちと対等”に一緒に考え、子ども自身が感じていることを大切に関わっています。集団の中で子ども同士の体験から、挑戦する意欲・相手への興味など気付けるきっかけ作りをしながら「子どもが育つ」を信じやり取りをしています。	・目の前の「できる・できない」という状態に偏らず、本人の育つ力を信じ、様々な機会提供を行うこと、さらに身近の人と一緒に楽しむことで、社会とつながる事を目指しています。
2	子どもたち1人ひとりの理解を深め見立てを増やし手立てを検討すること	・日々スタッフ間で学んだ事や支援の中で感じた事などunicoメソッド(内発的動機付けを高めるコミュニケーション)について1分間のスピーチを行い支援の引き出しを増やし実践に繋げています。	・子どもたちの気付けにくい気持ちの部分により見立てを増やし、unicoの考える“療育”の視点から子どもたちが環境とのちがいで困っている部分を和らげていく支援を図ってまいります。
3	支援の質の向上に向けた取り組み	・定期的な研修を通してコーチング（考える力を伸ばし、自主性を高める）をベースとした関わりを学び、実践しています。また、日々の支援の振り返りを必ず行い、次の支援内容に反映しております。	・他事業所との交流や日々のスタッフ間でのやり取りからディスカッションを通してスタッフ1人ひとりの支援の幅・対応方法等の向上を図っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちの育ちをともに共感し合える保護者連携	・保育園や自宅以外の送迎ニーズに応えられてはいないものの、その分直接保護者の皆様と対面でのやり取りには課題があります。 ・教室長も含めたスタッフ全員が子どもたちと長時間一緒に過ごすことができていない反面、保護者の方々との面談等の時間設定が十分でないことがあります。	・連絡帳の形式を工夫し保護者へ支援の様子を共有しているが、さらに連携の取りやすさに重点を置きデイルポ連絡帳の運用を外出時や土祝の際に運用を開始し、移行を検討しております。
2	保護者の方々への支援及び保護者の方を巻き込んだ療育支援	・年に数回の親子イベントにて保護者の方との交流する機会を設けていますが、十分な話し合いの機会としては行えていない部分もあると感じます。	・定期的なアンケートおよび6月や11月などに保護者の方との面談の実施を検討し、子どもたちの様子ややり取りについての共有から保護者の方への理解に繋げていきたいと検討してまいります。
3	心地よく過ごせる環境整備	・子どもも大人も快適な環境で過ごせるよう、清掃は仕組化し日々行い、環境の整理整頓も含め意識的に職員間で声を掛け合っています。子どもたちの足の裏の汚れが気になる現状であります。	・環境の清掃だけに限らず、整理整頓を徹底し、経年劣化が見られる箇所の修繕を行い環境整備を図ります。また、子どもたちの発達を促進するツールや遊具の充実、ワークショップの工夫を掛け合わせる事によって、さらなる療育効果の向上を図ってまいります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 unico粕屋			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4施設	(回答数)	4施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日			

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害の捉え方の浸透	・ 集団生活の中での課題感や困りごとを、その子の問題ではなくさまざまな環境との間に発生している問題という視点で捉え、現在の環境において最適なアプローチを訪問先の先生方と一緒に考えています。	・ 子どもたちがあらゆる環境で色々なことを体験する機会がさらに広がるよう、引き続き保育所等訪問を通じて支援を提供してまいります。
2	子どもを中心とした関係性構築と情報共有	・ 訪問先の園や先生方の保育への思いや一人ひとりの子どもたちを考え集団生活で工夫されていることをまずは把握し、その上で指導や助言ではなく、共に考える姿勢を大切にしています。	・ お子様や訪問先の方針の理解を深め適宜支援を検討するとともに、ご家族様のニーズに応じた支援が提供できるようより丁寧な情報共有に努めてまいります。
3	各関係機関との細やかな連携	・ unicoの児童発達支援を併用しているお子様が多数のため、それぞれの環境での様子や支援状況を共有し合っています。子どもたちが安心して過ごせる環境からさらに意欲や興味が高まる統一感をもった支援が提供できるよう努めています。	・ 支援内容やその効果について具体的に共有できるよう訪問先との情報共有や振り返りを行います。 ・ unicoの児童発達支援に限らずニーズのあるご家庭に提供できるよう体制を整えてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の日程調整	・ 児童発達支援と併用する場合、サービス提供時間と訪問支援実施時間が重複するため、保育園や幼稚園、学校に通っている日(時間帯)に訪問の日程を調整するには工夫が必要です。	通園・通学先との状況に合わせて訪問できるよう日程調整を早めに行います。 訪問支援に行けるスタッフを増やす等訪問日や訪問時間の調整が行いやすい工夫を検討します。
2	訪問支援日以外での情報共有	・ 訪問時だけでなく持続的で汎用性のある支援について、訪問日以外での通園先やご家庭とのとの情報共有や連携を図ることでよりお子様の理解や支援の質の向上につながると考えます。	・ 児童発達支援での様子をこちらから共有することや訪問支援時以外でもお電話等でいつでも相談しやすい関係性構築と環境を整えます。
3	支援計画についての情報共有	・ ご家族様や訪問先の先生方の意向を踏まえた計画および支援の目的や方法について、話し合う時間を設ける工夫が必要だと考えます。	・ モニタリング時期に改めて通園通学先の先生方、保護者様の意向や思いを確認し計画に反映させるとともに、訪問支援時にできるだけ計画内容に対する意向について確認しご家族様とも共有し共通認識のもと支援を行います。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
保育所等訪問支援 unicon柏屋		2025年 4月 25日				
		利用児童数 利用児童数6名 / 関係機関数4件（回収数4件）				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	75%	25%	0%	・状況に応じての対応の仕方等を教えていただき、とても分かり易かったです。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	75%	25%	0%	・専門的な視点から補助に入っ ていただき助かりました。 ・様子は共有するが助言等はあ まり無いので分からない。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	75%	25%	0%	・とても丁寧に教えていただき ました。 ・他児と本児とのトラブルにす ぐ気づき、声掛けでしっかり 介入してくれました。 ・見学のみで特に質問などはあ りません。逆に質問を受けるこ とはあります。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	75%	25%	0%	・訪問の際に色々とお話するこ とができ、対策して行くことも できたので良かったです。 ・園で対応できています。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	・本児がより豊かに生活するた めに、訪問頻度を増やしたり保 護者と保育所と事業所の三者連 携をより密にして行くことが重 要だと思います。 ・園ではできない体験をさせて もらって、のびのびしていると思 います。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・保育所等訪問支援にあたり、今後の支援の仕方や内容、保護者への連絡等の情報共有ができればと思いますので、宜しくお願いいたします。 ・一年間、色々なお話をすることができて良かったです。 ・ありがとうございました。 ・カンファレンスの時にもお話しさせていただきましたが、uniconで休息が取れなかった日は、園に戻ってからの本児のリズムが上手く取れなくなるようです。 ・疲れ切っているのか、園では自由にできないストレスからなのか、他児や保護者とのトラブルが絶えないということが続いているようで、何か対策や対応ができればと思います。				ご意見ありがとうございます。 いつもご協力いただいている各ご訪問先の先生方をはじめ各関係機関の皆様と連携を大切に丁寧に行い、さらなる支援の質向上に努めてまいります。 今後ともよろしくお願いいたします。		